

12. 表紙の写真について

小説「野菊の墓」で有名な「矢切の渡し」近くの堤防で撮った一枚です。

矢切の渡しは、江戸時代初期から続く、柴又と対岸の千葉県を結ぶ渡し船です。情緒ある木製の手漕ぎ舟や、ヒバリ、ユリカモメの声などは「残したい日本の音風景 100 選」に選定されており、現在でも乗船することができます。

この写真は千葉県側で撮ったものですが、辺りは水田やキャベツ畑が広がる広大な農地であり、松戸市内とは思えない自然豊かな環境が残っています。

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第一版	2025 年 8 月 1 日	初版発行